



# MacBook Air 13インチ Retina Display Late 2018 下部 ケースの交換

MacBook Air 13インチ Retina Display Late 2018...

作成者: Adam O'Camb



## はじめに

MacBook Air 13インチ Retina Display Late 2018 下部ケースの交換/取り外しをするための修理ガイドです。

---

### ツール:

[P5 ペンタローブネジ用ドライバー \(Retina MacBook Pro/Air用\) \(1\)](#)

### 部品:

[MacBook Air 13" \(Late 2018-Early 2020\) Lower Case \(1\)](#)

[MacBook Air 13" \(Late 2018-Late 2020\) Lower Case Screw Set \(1\)](#)

---

## 手順 1 — 下部ケースを固定しているネジを外します



① この手順を始める前に、Macのオートブート機能を解除する必要があります。自動起動中、蓋を開けるとMacの電源をオンにし、分解中に誤ってトリガーされる可能性があります。[こちらのガイド](#)を参照して自動起動を無効にします。

- MacBookにBig Sur v11.1以降がインストールされている場合、自動起動を無効にするとうまくいかないことがあります。通常通りに作業を進めることができますが、開口できたらすぐにバッテリーを外してください。

⚠ 作業を始める前に、MacBook Airの電源を切り、プラグから外します。ディスプレイを閉じて、ラップトップ全体を裏返します。

- P5ドライバーを使って、次のネジを外します。
  - 7.9mmネジ—2本
  - 7.1mmネジ—2本
  - 2.6mmネジ—6本

## 手順 2 — 下部ケースを取り出します。



- 指先をディスプレイと下部ケースの間に挟んで、Airから下部ケースを上向きに引き上げます。
- 下部ケースを取り出します。
- ☑ 再組み立て後、電源に接続するまでMacBookの電源が入らない場合があります。修理を試すには、充電器を接続し、MacBookの電源が入るまで2分ほど待ち、すべてが期待通りに動作することを確認してください。

オリジナルのパーツと交換用パーツをよく見比べてください。交換用パーツに付いていない残りのコンポーネントや接着シールなどは、インストールする前に新パーツに移植する必要があります。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか？まずは[ベーシックなトラブルシューティング](#)を試してみるか、このモデルの[アンサーコミュニティ](#)に尋ねてみましょう。